

# 2025年3月期第1四半期 決算補足説明資料

栄研化学株式会社（証券コード：4549）

2024年7月31日

# 2025年3月期 第1四半期決算概要

# 2025年3月期第1四半期決算概要

## 2025年3月期 第1四半期エグゼクティブサマリー

### • 外部環境

- ✓ 新型コロナウイルス検査試薬の需要の減少
- ✓ 世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う経済の下振れリスク
- ✓ 円安や原油高による物流及び原材料調達などのコスト上昇

### • 当社業績

- ✓ 海外における便潜血検査試薬の受注の期ズレ等による影響、遺伝子関連の新型コロナ需要剥落や特許満了等による影響を受け、前年同期比で減収
- ✓ 一方、尿検査試薬は国内における新規獲得、海外向けの販売増の要因により、好調に推移
- ✓ セールスマックスの変化、販管費増の要因により、前年同期比で減益

### • その他

- ✓ 野木新製造棟の建設開始
- ✓ 本社の移転を発表
- ✓ 国内検診受診率向上に向けた取り組み 一般向け情報発信サイト公開
- ✓ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に継続選定

# 2025年3月期第1四半期 実績 前年同期比

国内は堅調も海外向け売上の減少により減収

高利益品の売上減、特許料収入減等によるセールスマックスの変化、販管費増により減益（ただし、販管費については計画通りの使用）

	2024年3月期 第1四半期		2025年3月期 第1四半期		前年同期比	
	(百万円)	売上高比率	(百万円)	売上高比率	(百万円)	増減比率
売上高	9,864	100.0%	9,519	100.0%	△345	△3.5%
国内	7,340	74.4%	7,405	77.8%	64	+0.9%
欧州	892	9.0%	692	7.3%	△199	△22.4%
北米	585	5.9%	462	4.9%	△123	△21.0%
アジア・オセアニア・その他	1,046	10.6%	959	10.1%	△87	△8.3%
売上原価	5,681	57.6%	5,566	58.5%	△115	△2.0%
売上総利益	4,183	42.4%	3,953	41.5%	△230	△5.5%
販売費及び一般管理費	3,130	31.7%	3,369	35.3%	238	+7.6%
営業利益	1,052	10.7%	583	6.1%	△469	△44.6%
経常利益	1,087	11.0%	641	6.7%	△446	△41.0%
当期純利益	770	7.8%	486	5.1%	△283	△36.8%

## セグメント別決算 前年同期比

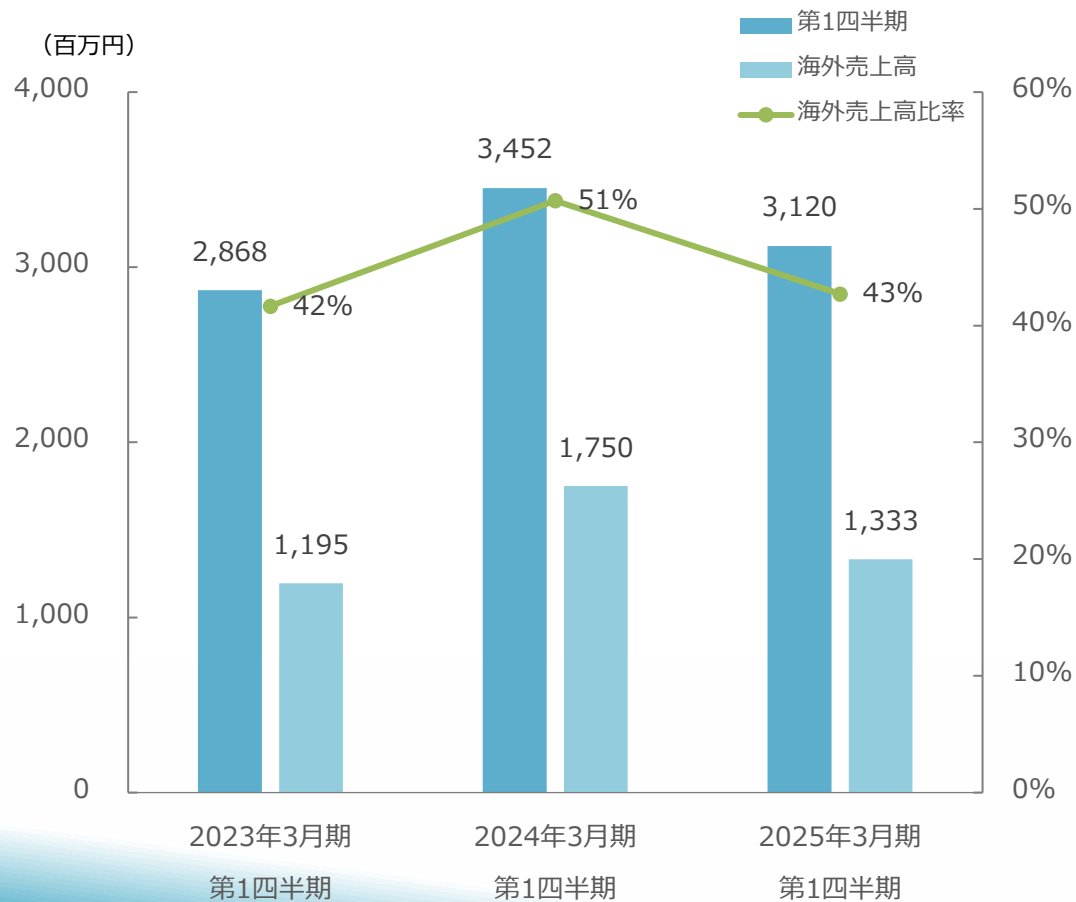
主力製品の便潜血が、国内は堅調も海外は受注の期ズレ等の影響により減収  
 新型コロナ検査需要の剥落、および特許満了等の影響により、遺伝子関連は減収  
 一方で採用施設の増加等の要因で免疫血清及び尿検査は増収

	2024年3月期 第1四半期		2025年3月期 第1四半期		前年同期比	
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	(百万円)	増減比
便潜血	3,452	35.0%	3,120	32.8%	△ 331	△9.6%
免疫血清 (便潜血を除く)	2,381	24.1%	2,481	26.1%	100	+4.2%
尿検査	992	10.1%	1,122	11.8%	129	+13.0%
微生物	1,038	10.5%	1,058	11.1%	19	+1.9%
生化学	150	1.5%	150	1.6%	0	+0.3%
器具・食品環境	480	4.9%	512	5.4%	31	+6.6%
遺伝子関連	551	5.6%	232	2.4%	△ 319	△57.9%
医療機器・その他	817	8.3%	840	8.8%	23	+2.9%
合計	9,864	100.0%	9,519	100.0%	△ 345	△3.5%

# セグメント別決算詳細①

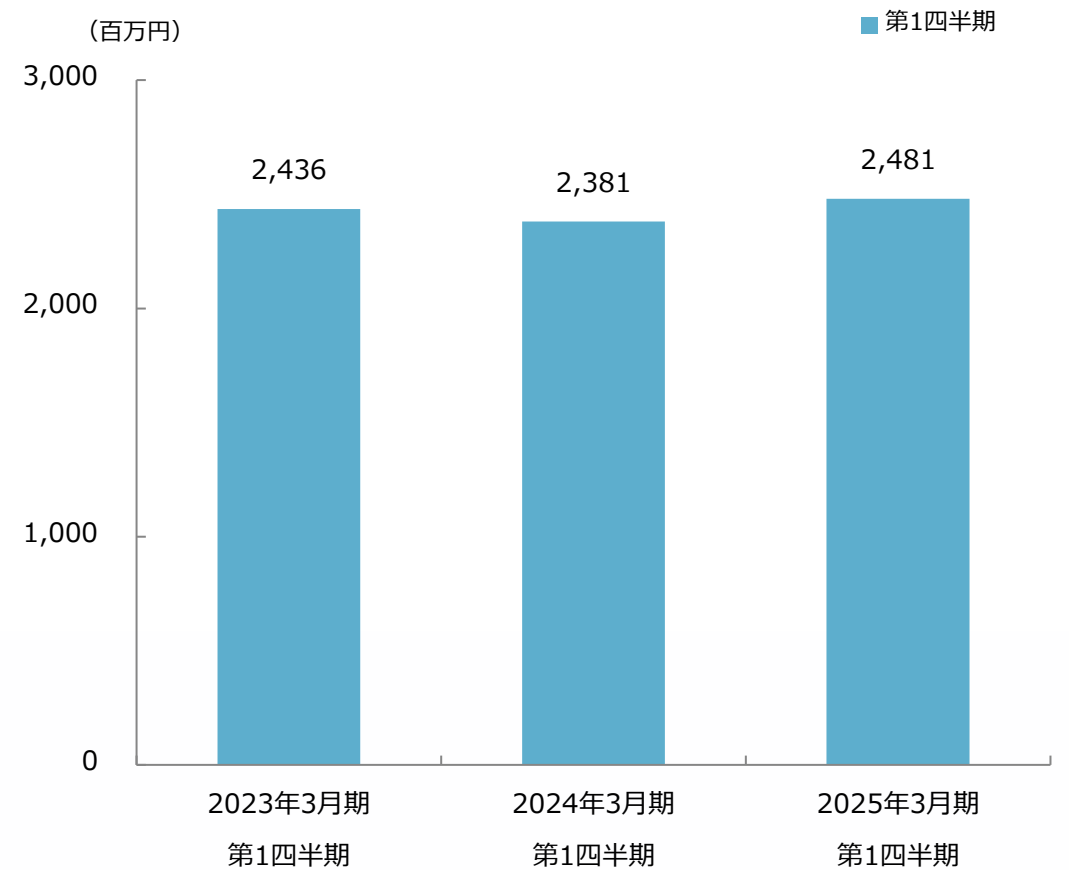
## 便潜血検査用試薬

国内は堅調に推移するも、受注の期ズレ等の影響で主に海外において減収



## 免疫血清検査用試薬

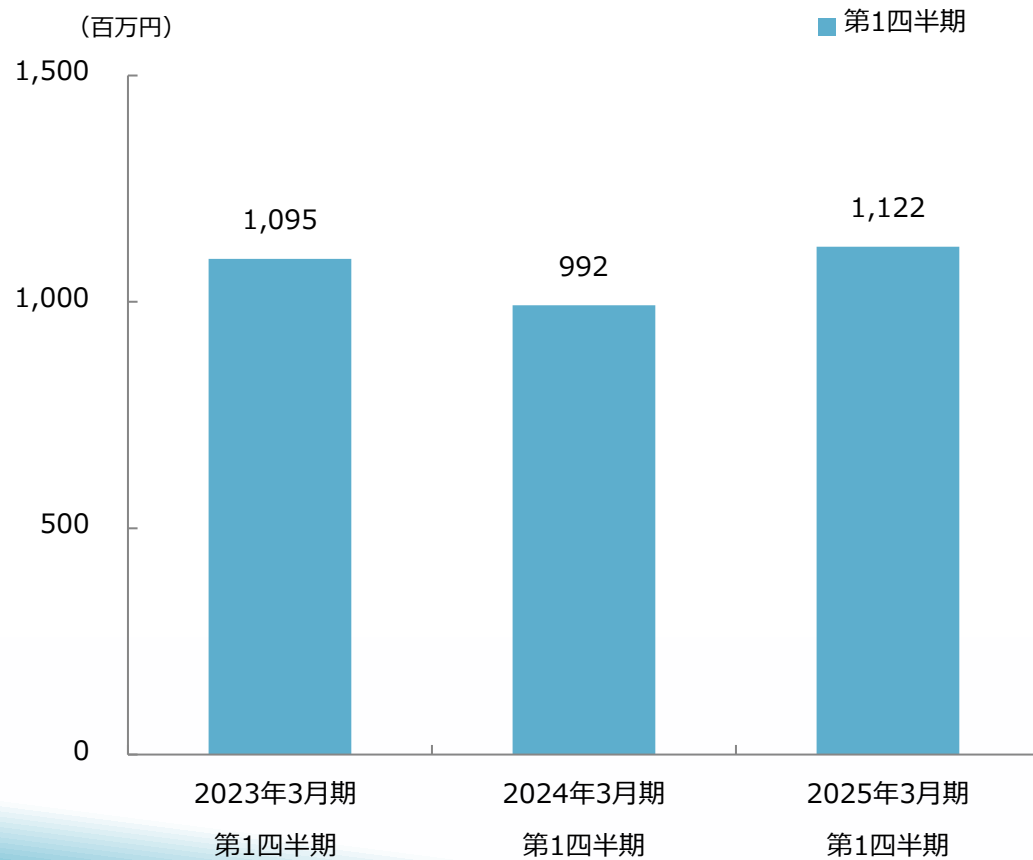
HbA1cの採用施設増加等の要因で増収



## セグメント別決算詳細②

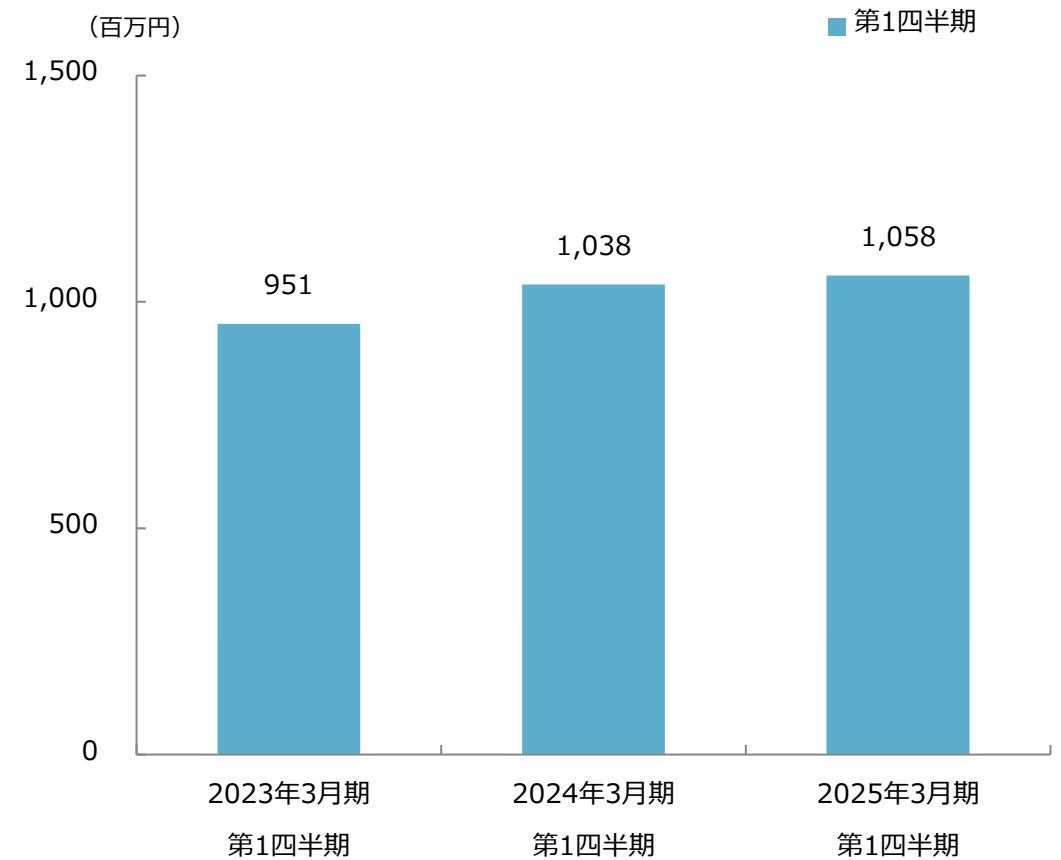
### 尿検査用試薬

国内における新規獲得、海外向けの販売増の要因で順調に推移



### 微生物検査用試薬

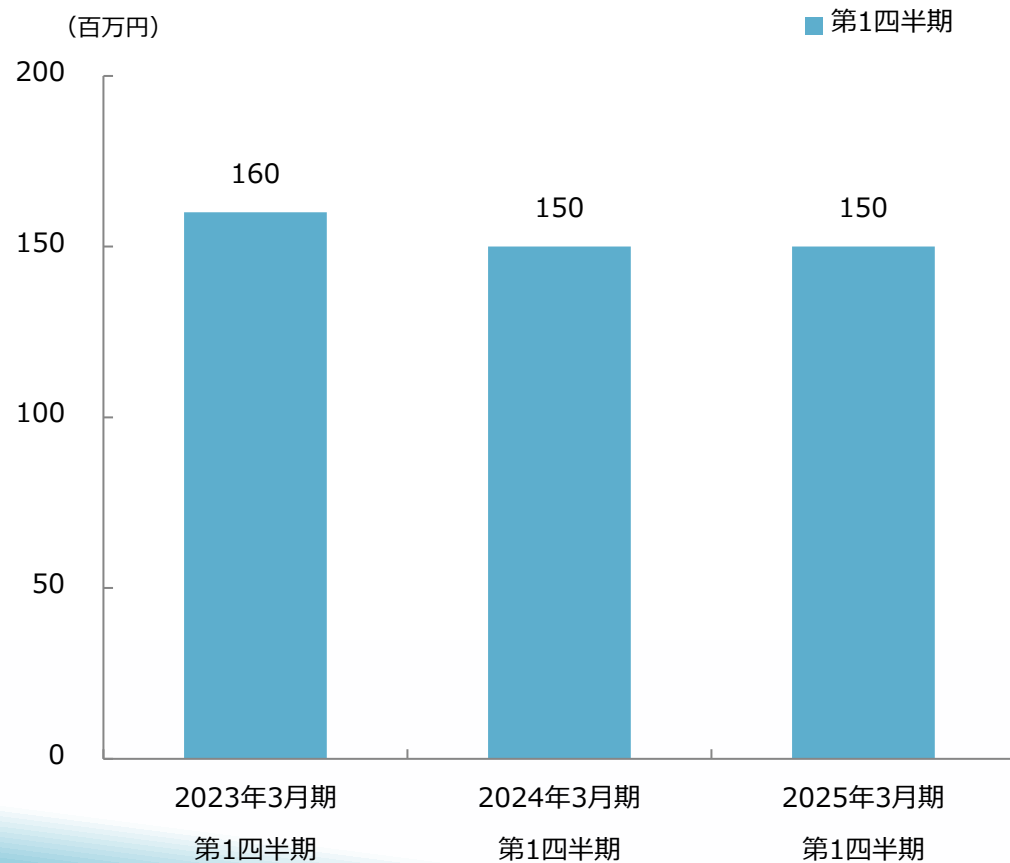
新製品の迅速診断キットが売上を伸ばしたものの、感受性関連製品の期ズレの影響により全体として前年同期並



# セグメント別決算詳細③

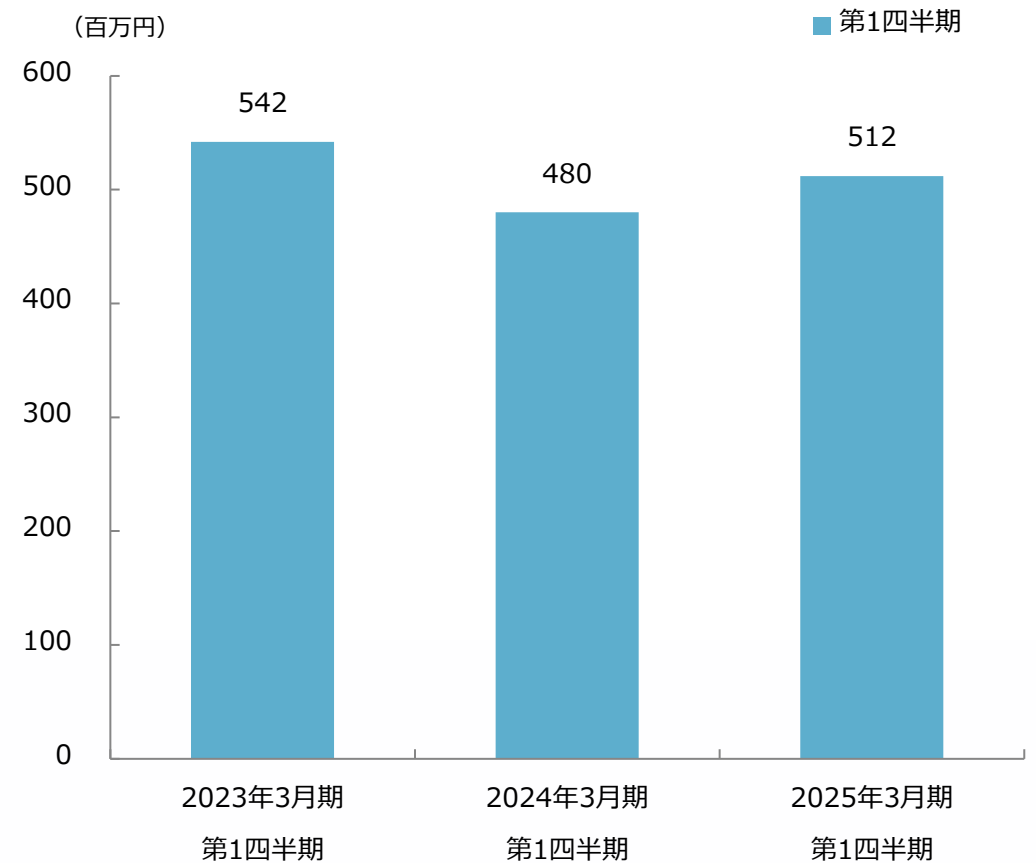
## 生化学検査用試薬

### 市場環境の厳しさのなか、前年並で推移



## 器具・食品環境関連培地

### 食品産業の生産増加に伴う受注増により増収

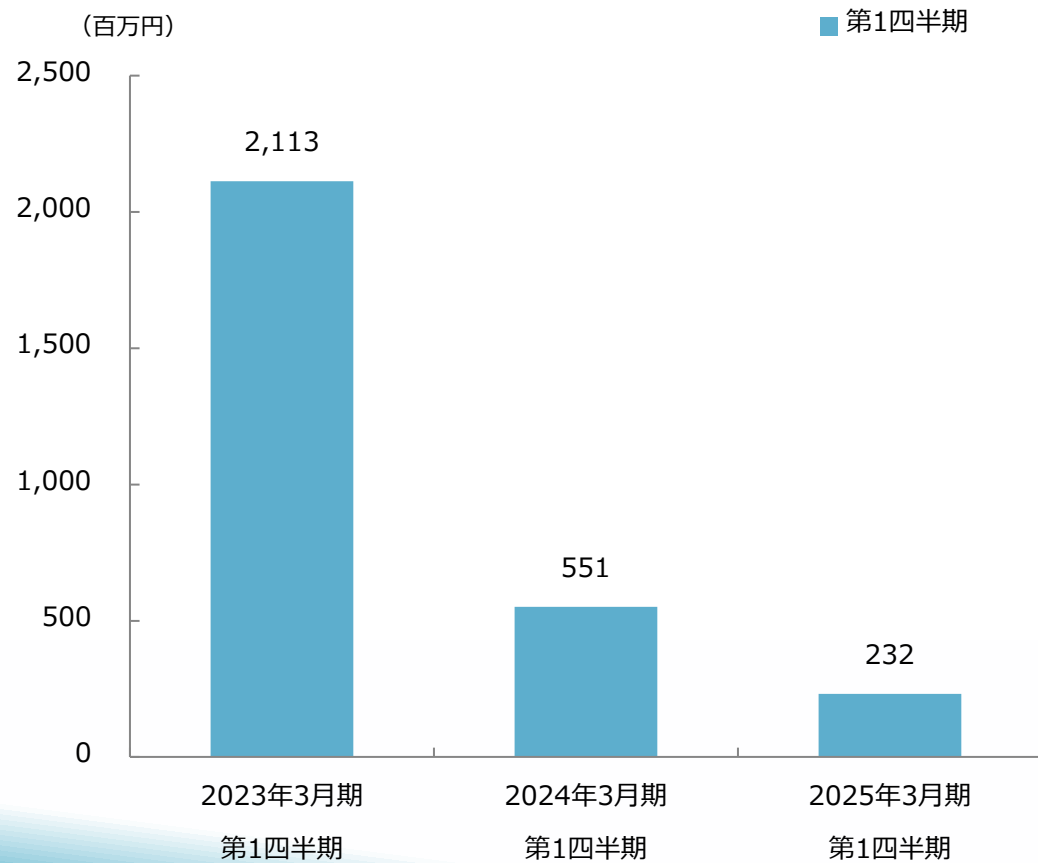




## セグメント別決算詳細④

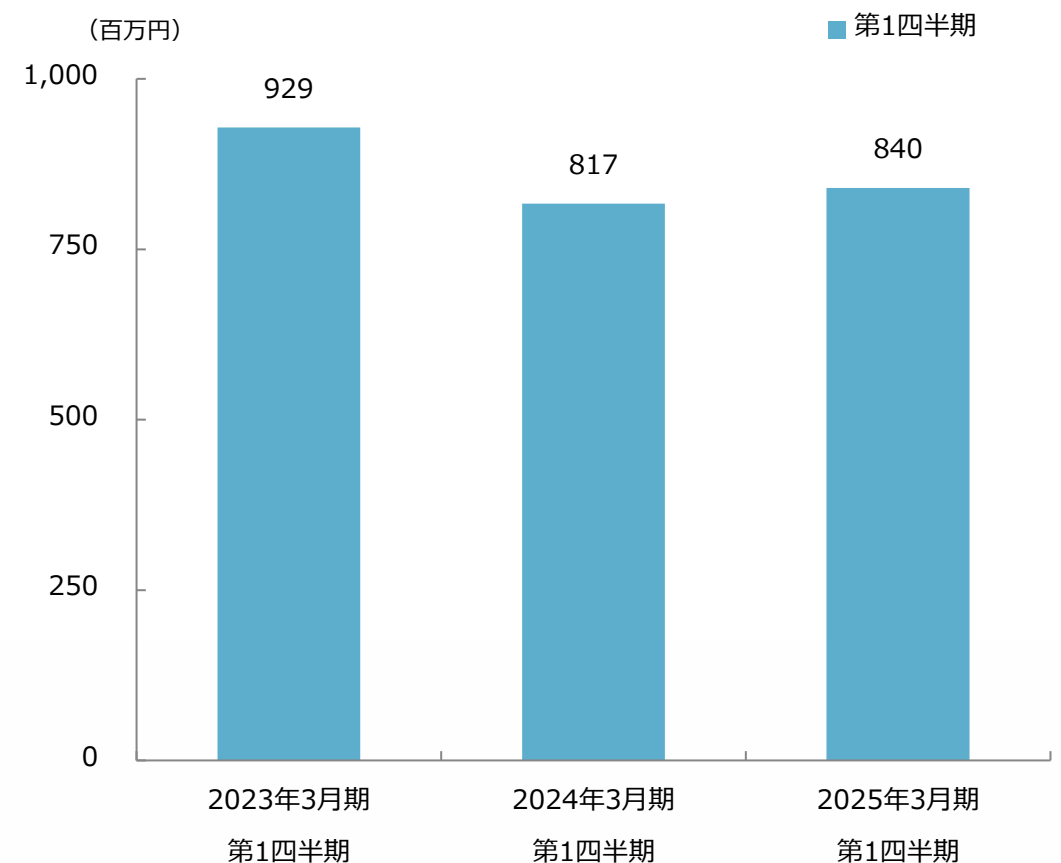
### 遺伝子関連

新型コロナ需要の剥落、LAMP法特許満了の影響により減収  
特許料：1百万円（前年同期 108百万円）



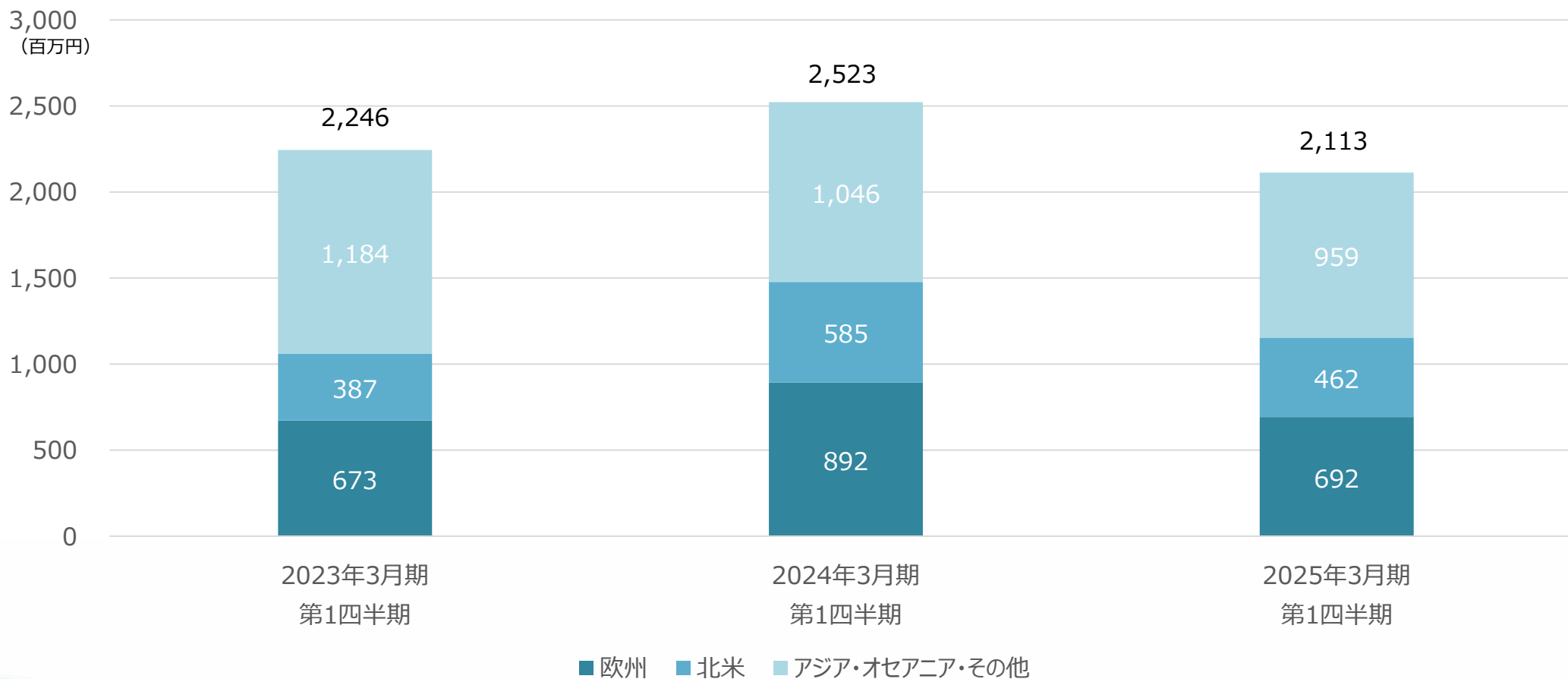
### 医療機器・その他

前年同期並で推移



## 海外地域別売上高

(欧州) 便潜血で次期入札時期に伴う買い控え等により前年同期比減収も、一時的であるため第2四半期以降回復見込み  
(北米) 便潜血で受注の期ズレ等の影響により前年同期比減収も、市場のマイナス要因はなく第2四半期以降回復見込み  
(アジア・オセアニア・その他) アジア便潜血の在庫調整等の影響により前年同期比減収も、オセアニア便潜血、尿検査試薬※は好調に推移



※海外向け尿検査用試薬（シスメックス(株)との提携）の売上はすべてアジア地域に含む

# 2025年3月期 通期業績予想

## 2025年3月期 通期連結業績予想

現状、2025年3月期の通期業績予想に変更はなし

第2四半期以降、海外各国の便潜血の回復、TB-LAMPの受注増、経費の効率的な使用等の要因で持ち直す見込み

	2024年3月期		2025年3月期 予想		前年比	
	(百万円)	売上高比率	(百万円)	売上高比率	(百万円)	増減比率
売上高	40,052	100.0%	43,100	100.0%	3,048	+7.6%
国内	29,936	74.7%	30,780	71.4%	843	+2.8%
欧州	3,929	9.8%	4,600	10.7%	670	+17.1%
北米	1,959	4.9%	2,610	6.1%	650	+33.2%
アジア・オセアニア・その他	4,227	10.6%	5,110	11.9%	882	+20.9%
売上原価	23,328	58.2%	23,460	54.4%	132	+0.6%
売上総利益	16,723	41.8%	19,640	45.6%	2,917	+17.4%
販売費及び一般管理費	13,345	33.3%	13,980	32.3%	635	+4.8%
営業利益	3,377	8.4%	5,660	13.1%	2,283	+67.6%
経常利益	3,568	8.9%	5,620	13.0%	2,052	+57.5%
当期純利益	2,634	6.6%	4,480	10.4%	1,846	+70.1%

## 2025年3月期 セグメント別予想

第2四半期以降、便潜血においては欧州主要国での入札時期による買い控えからの回復、円安を利用した値上げ、対象年齢拡大、カルプロテクチン販促、各国受診率向上への取り組み等により持ち直す見込み

遺伝子関連においては、途上国向けTB-LAMPの受注増が見込まれており通期予想に変更なし

その他のセグメントにおいても、売上が順調に推移していることから、現時点で通期予想に変更なし

	2024年3月期		2025年3月期 予想		前年比	
	(百万円)	構成比率	(百万円)	構成比率	(百万円)	増減比率
便潜血	12,315	30.8%	14,800	34.3%	2,484	+20.2%
免疫血清 (便潜血を除く)	9,394	23.5%	10,245	23.8%	850	+9.1%
尿検査	4,401	11.0%	4,515	10.5%	113	+2.6%
微生物	4,312	10.8%	4,800	11.1%	487	+11.3%
生化学	575	1.4%	690	1.6%	114	+19.8%
器具・食品環境	1,961	4.9%	1,715	4.0%	△ 246	△ 12.6%
遺伝子関連	2,625	6.6%	2,860	6.6%	234	+8.9%
医療機器・その他	4,464	11.1%	3,475	8.1%	△ 989	△ 22.2%
合計	40,052	100.1%	43,100	100.0%	3,047	+7.6%

## その他トピックス

1. 野木新製造棟の建設開始
2. 本社の移転を決定
3. 国内検診受診率向上に向けた取り組み 一般向け情報発信サイト公開
4. FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に継続選定

# 野木事業所新製造棟の建設開始

FITグローバル展開の加速、それに伴う大幅な生産数量の増加予想に対する生産スペースの確保、免疫血清検査用試薬の生産拠点を栃木県野木工場へ統合するため、新製造棟の建設中

2024年5月建設開始～2025年6月竣工予定 設備投資額65億円（うち2025年3月期支払予定額43億円）

課題項目	概要	解決すべき具体的内容
スペース	新製品・改良品の上市 設備更新 生産体制	<ul style="list-style-type: none"><li>• FITグローバル展開の加速、それに伴う大幅な生産数量の増加が見込まれ、那須工場の生産スペースが不足する予測</li></ul>
設備	試験の重複 出荷倉庫への輸送リードタイム	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自社製品製造原価率改善</li><li>• 同一原材料でも各工場で試験設備、保管スペースなど重複</li><li>• 工場間の試験委託も発生那須工場は出荷倉庫である商品管理部(野木)への製品輸送が発生</li><li>• リードタイムも1週間程度必要なため安全在庫が1週間分多い</li></ul>
組織	工場組織の重複 設計移管の煩雑化	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1人あたりの生産金額の向上</li><li>• 労働力不足が見込まれる将来、組織機能面でも重複するスタッフ業務を、統合・DX化を進めることでスリム化を図る</li><li>• 野木事業所に統合した研究部門と連携を強め、設計移管のスピードアップを図る</li></ul>

# 本社の移転を決定

柔軟な働き方の推進や経営効率化を目的とし、本社を現在の台東区から千代田区へ移転することを決定

➤ **移転先**

東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 6 番地 御茶ノ水ソラシティ 20 階

➤ **移転時期**

2025 年 9 月(予定)

➤ **移転目的**

社内外の環境変化をふまえた柔軟な働き方の推進、及びより一層の経営効率化を図る。  
新たなワークスタイルの導入により社内コミュニケーションの活性化を図り、当社経営計画の  
スローガン -Team × Challenge- を推進するとともに、働き方改革、意識改革を実現する。



## 国内検診受診率向上に向けた取り組み 一般向け情報発信サイト公開

一般の方に向けた検診や健康に関する情報発信の場として「imakara,pjt」（いまカラ PROJECT）のウェブサイトを開設し公開



～今からできることがきっとあるはず、検診や健康に関する情報発信の場～

<https://imakara.eiken.co.jp/>

すべての人を対象に、健やかな未来のために今からできることを発信するために開設  
第一弾として、医師による大腸がん検診に関する動画を公開中  
今後も当サイトを通して皆様の健康に役立つ様々な情報を発信する予定

# FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に継続選定

2024年6月、ESG投資の主要指標として、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄として昨年度に引き続き選定された



## FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるように設計されている。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI（Transition Pathway Initiative）経営品質スコア※により改善の取り組みが評価される企業のみが組み入れられる。

※TPI経営品質スコア：企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの。

＜参考＞ 栄研グループのサステナビリティ：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/>  
ESGデータ集（2024年7月更新）：[https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg\\_data/](https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg_data/)

# Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。